

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語 ( / )

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
0861.48	カリ <sup>ト</sup> ko:ru <見 <sup>ル</sup> 活に ko:ru>	おかり sibareru <多. 寒 <sup>ル</sup> 方に <sup>ル</sup> >
0873.94	ko:ru <全体>	sibareru <ち <sup>ト</sup> と <sup>ル</sup> す <sup>ル</sup> もの>
0894.61	giga hatta <表面に <sup>ル</sup> 張 <sup>ル</sup> た時>	siu <sup>m</sup> bareru
0990.97) 1731.89	ス加 <古>	コオリ
1709.85	sibareru <多>	ko:ru
1762.10	コオル <多>	シバレル
1763.60	シバレル <と <sup>ル</sup> >	コオル
1816.52	コオル <多 <sup>ル</sup> >	シバレル <少 <sup>ル</sup> >
1863.48	コオル	シバレル <少 <sup>ル</sup> >
2608.90	シバレル <多> <差異に <sup>ル</sup> つ <sup>て</sup> は <sup>ル</sup> わか <sup>ら</sup> な <sup>い</sup> >	シミル

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 残した語形とその注)</del>
2722.67	コオル . シバルル 両方共使う	
2750.44	シミル <古. 今でも使われる昔はシミルだけ使った>	コオル
2763.89	simirru <たろの水など>	koruu <川の水など>
2765.71	sija haru <動詞形はらゝ(?)>	
3699.25	NR <sija haru という>	
3705.42	koruu (simirru が普通)	
3733.18	不明. süngama haru という答のみしか出た 12818 simirru	
3733.22	sija sija haru kagatte kürrü しか出なかった	
3755.32	スミル <多「スミル」の形がある>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は密着にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注記)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 残した語形とその注)</del>
3757.59	シカハツタ (参考) このよう返事があつた	コイル
3761.74	Siya ni narü (128のシミルが去るのに、いくら 向うでも出た)	körü
3783.11	コイル (圓利になつたもの[古])	スカハル (平面になつたもの)
3796.95	スミタ <圓くなる>	コ-9
3797.32	スミル <土>	コ-9 <水>
4589.83	Simiru <古>	
0990.97	Sibareru < Sibarete siya hatta kōiō. 越中の人道路に氷がはつた。kanami hatta tja kōiō >	

追記 →

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 129	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

追記 {

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1791.33	シバレル (多)	
1814.25	シバレル <多>	
1854.24	sibareru <多>	
4609.54	ko:ruharu <今>	siyaharu
4652.79	ko:ru <一般的に水か氷る時に用いる>	simiru <器物の中の水か氷る時に用いる>
4663.06	simiru 多	}
4653.84	ko:ru rは巻き音	
4663.49	simiru <ko:ruは昔の人は使わなかった>	
4663.99	#ko:ru (コ-ル-ル-ル音はかまかである)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は敬密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		[B 除いた共通語]	(5)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 残した語形とその注)</del>
4668.27	zæ haru <青年はko:ruuという>	
4672.19	simiru (家庭内で多く用いる)	
4675.45	simiru (simite zæ: ga haru と云ったから simiruは水か氷ることだと考えられる。終止 形はこの問題ではえられなかったが128回でえられた)	
4676.67	ko:ruu <新>	
4678.77	* ko:ruu はじめ simiru といった	
4679.65	similuu <多>	
4689.10	ko:ruu <コオルはニミルより強い>	
4694.81	コオル 終止形がえられなかった	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語	(6)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注記)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 除いた語形とその注記)</del>
4695.19	#シミル (古?)	ㄗ"エカ"ハル
4696.82	ko:ru <共>	
4698.21	ko:ru <これを使う>	simiru
4701.14	süŋa haru <普通>	
4703.18	ko:ru, simiru <巴別対し>	
4703.88	süŋa haru 上に「水か」はつかた。昔はこれ以外に言い方はなかった。現在も多し。「水か ko:ru」に代る。	
4706.84	süŋa haru (コ-ルとほ言わ付い)	
4731.15	sümiru <多>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語	(7)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 残した語形とその注)</del>
4711.41	koru (コルという終止形は殆んどつかわな... コツツの形をとる)	suimiru
4711.49	コル コルはコツツ、コツツキ(=おる時)の如く用い、終止 形を用いることが減多にな... 答えも「コツツ」であつた が概念的に終止形として「コル」と記す	スカハル、スミル
4713.02	siyahatta <普通>	
4715.33	siyaharu <「凍る」とは言わなからし... そのよう 一語の動詞もたらし...>	
4715.98	ko:siyaharu (この言...方しかひき出せな...)	
4716.20	siyaharu (単独の動詞はな...ようである) <この場合 は「凍る」とは言わな...>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (8)

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B-C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B-C 残した語形とその注)</del>
4723.58	sijahatta (凍るといふことははたしやうである)	
4725.68	sijahatta <多>	
4732.18	ko:ru (氷をko:ruとほ言わぬ.. süngaha ko:ru と云う)	
4742.37	sijaharu (=のまじりにいかにいふ)	
4744.10	süngaharu <普通>	
4760.56	süngaharu <ko:ruとはあまり言わぬ>	
4772.33	simiru <普通>	ko:ru <=氷も使う>
4790.74	simirü <ko:ruは使わぬ>	
5528.31	simiru <古>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。 *258*
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
127	96	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(9)
氷る 127			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5548.58	ko:ru gambaru とゆう	
5565.19	simiru <古>	.ko:ru
5574.84	simirū (薄..とき)	ko:rū (厚..とき)
5588.78	ハル <今夜は寒..からハルかもしらんぞ>	コイル
5589.30	シミル <本当はシミルからコイルのこある>	
5696.68	iteru <昔の人か使..た>	ko:ru
5604.65	コイル (共)	
5605.11	simiru (これが最も多く用..られる)	
5606.83	simiru <希>	ko:ru
5608.51	similru (127の場合にも用..るが、霜柱が生ずる 又 128の時にも用..る表現の範囲が広い)	ZEE: ga halru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (10)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5609.26	simiru, ko:ru (jo:ho:ona si (両方同じ) という)	
5613.48	ko:ru simiru (は雪が国く氷ること) (水気のあるおの国く氷ること)	
5617.85	dzairu (dzai はうすい氷の意にむかひ) dzai ga haru 時とてい)	
5618.43	dzae haru simiru (両方つかい)	
5621.83	simiru (gasa につて云)	ko:ru (厚い氷につて云)
5625.91	simiru (多)	
5628.70	イナル (こく寒い時にい)	コアル (多く使)
5632.28	ko:ru (水が氷ることと云)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5633.81	kogoru 〈小つう〉	
5633.96	ko:ru simiru 〈区別用〈使い〉〉	
5635.48	シミル 〈古形〉	
5669.96	ko:tta (過去形)	
5671.00	simiru (simita 結果できたものは ko:ri だ) ko:ru	
5671.36	koru 〈simita de ko:tta〉 (寒いた から 凍った)	
6378.87	シミル (希)	コイル
5679.86	ko:tta (過去) (寒) ko:ttatta (過去)	
5687.60	コイル コイカイル 〈両方とも同じように使う〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (12)
項目名 氷る 127		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
5688.01	コオツク コオルダロオ (コオツクの終止形について は質問が進展しなかった)	
5732.17	koru eteru <両方便いか。イテルイほうを多 5733.02 koruru <使う>	
5733.02	ko:ru <simiru iteru は土・大根などか こおる意 >	
5760.57	ko:tta (過去形)	
5770.11	ko:tta (過去形)	
5771.42	ko:tta (過去形)	
5780.11	ko:tta (過去形)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) [ ] は敢密にする。

質問番号 127	地図番号 96	普通注記	ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語)	(13)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6267.84	ko:ɣ 過去形から推量した語形ゆゑやし	
6349.09	kogoru (古上品)	ko:ru
6375.65	シミル < ココルにくらべてココリの方がいらいが軽い >	ココル
6420.34	コイル < 過去 >	コイル
6424.92	シミル < 普 >	コイル
6426.04	kogoru (道路が渠はるをイテル。シルとハ 大根はシミルとハ。水が氷に化ると 自体はココル)	
6428.13	イテル < 古 >	ココル < 新希 >
6429.30	ココル < 希 >	コイル

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6429.61	ココル コオル 《両様の言.. 亦別はし》	
6430.53	シミテ コリニフツ (シミタとすべよか)(1282. コリニフツの答と本に後シミタと改めた)	
6439.17	komoru (あとで学校の先生(シム下流の出身)は 6439.61 kojoruの同造.. だろうという)	
6439.61		
6439.61	《 <del>イ</del> イテル <古>	ココル
6440.67	コオリ カハル (コオリとどとは言わぬ)	
6459.29	コオリ カハトル コオトルとはいわぬ	
6459.87	コオリ カハル <魚の油が固体になるのはココル>	
6477.02	コオリ <昔店や屋台店で売った氷はカニコオリといつた。カニコオリ 池に張るはコオリである。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (15)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6610.77	ko:rija haru <器に入れ氷を全体が氷結するのをコリカハル という>	
6511.33	イテル <多し>	
6511.85	iteru <もう氷がこぼれ出す>	kogoru <想像する場合>
6521.94	ココル <少>	イテル
6522.93	イテル 表面的	
6522.01	iteru <古>	
6525.90	iteru <古>	ko:ru
6526.45	イテル <主に湿気の場合に使う>	コイル
6529.15	シミル [シミルはコイルの前の段階である]	コイル

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		B 除いた共通語 C 除いた特殊語 (16)

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>
6532.70	イテル <表面的>	コイル
6542.27	コイル <やや多>	ココイル
6542.71	iteru キョ-ワ エテ イテヤのじにもい	
6543.05	イテル (地面等にもいのか?)	ココイル
6552.46	kogoru (名詞形「氷」か「コ-ル」で動詞形「氷る」か「ココル」かとの説明)	
6553.47	kogoru <老人> (今はおほら「コ-ル」の勢力下にある)	
6563.58	iteru <これも使われるのではな>	kogoru
6564.33	kogoru <氷汁か氷るにとは「ココル」とい>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (17)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注記]	A 注のない語形 [B・C 除いた語形とその注記]
6571.34	kojoru (12612「コ-リ」で、12713「コ-ル」で区別)	
6607.84	ko:ru ([ko:tta]と修正)	
6631.05	ko:tta (過去形)	
6686.75	tappinnaru <厚..氷>	kotta <薄..氷>
7208.97	ko:l <ko:ttol. ko:l no hattol r+to>	
7218.58	ko:ru itaganen haru <普>	
7248.49	ko:ru <ku:tta とはいぬ..>	
7249.35	フウツト (凍っている意)	
7249.95	フウツ フウツには終止形は現われず: フウツツ(氷)といる。フウツツ(氷ツ)の形で現われる。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は縦書きにする。

質問番号 127	地図番号 96	普通語 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (18)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7266.34	コオツ 小口は、コオツの使う	コオトル
7340.50	ku: <水田や道路などの凍るは物に karamu? > ko:ru	
7341.47	(コオトルの形である)	
7350.21	ku: ? (終止形は現われにくい フウツトフとか フウツトフとか状態表現、過去表現として現われ るのかもしれない)	
7351.06	ko:ru (kō:ri とアクセントが異なる)	
7353.03	ko:ru (厚く凍る)	simiru
7354.23	コオトル (シングルがハルとは"うか"シングルと"い 動詞は"よう"である)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (19)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7370.41	コイル <古>	コイル
7371.93	ko:i (126 T-1は kul となっているが 127.128 T-1は ku:i とはならないという f とえは [ko:ttōi])	
7376.68	ko:ru ko:ttjoru <何れも同一位便子>	
7386.56	kottjoru kotta (原形は [koru] であるが、その形では現れない)	
7386.63	koru (kotta と過去形の方が口から出可い)	
7395.09	kotta (原の形は koru である)	
7395.88	kotta (現在形は koru であるか出に可い)	
<del>7403.62</del>	<del>ko:ru &lt;ko:ri ga haru no ji ni ija 普通&gt;</del>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記	ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語)	(20)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>
7410.57	ko:ru (地域内には kogoru を使うものもある)	
7411.61	koru <上>	kogoru
8302.55	クル <ヤ> 古 <希>	コイル
8304.66	kanakutta <古>	kotta
8305.40	kotta コル [koru] という現在形(終止形)は ほかほか表に<..	
8305.76	koru ([kottforu], [kotta] が自然. 二二では koru が表に 128 も同じ)	
8306.04	kottforu kotta (原形は [koru] であろう.)	
8306.42	kotta koru は表に<..	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で得た情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	<u>A</u> 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (2/)

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>
83/3.72	kut /ko:ru/から九州方言の〈u〉の通性に従って /kuru/と対する /ru/の入声化によって /kut/ と対したと思われる。	
83/3.84	kutta 現在形はてにく	
83/3.88	kut (こ-ru (ko:ru) > kuru > kut の過程を 経ると思う)	
83/5.46	kottoru (原形は ko:ru o)	
83/5.89	kottattja 「氷ったのだ」の意。単に ko:ru 或は koru は言わぬ。しかし終止形は ko:ru 或は koru と推測できる。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は縦密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (22)
項目名 氷る 127		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
8334.63	kotta (現在形は出た。koruか)	
8335.05	kottoru (この形は出た。)	koru
8335.48	kotta ( " )	koru
8341.12	koru (kotta e ほう)	
8324.26	kutta 終止形はkuruである	
8324.83	kotta 過去形	
8345.24	ko:ru <sup>u</sup> (simoguri ni naru)	
8352.92	ko:2 (今の方。昔はコ-ルに当り、方はトカッタ)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (23)

地点番号	A 語形とその注記 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>	A 注のない語形 <del>(B・C 除いた語形とその注)</del>
8355.23	ko:ru <多> simoguri naru <西コトバツが 近頃は /ko:ru/ と多<使>	
0257.43	ko:jum <事実ほほ..か>	
0265.96	ko:jun ko:jui (語尾の二形の区別について ほ021.022の注<>内と参照)	
0275.97	ko:rjun ko:rjui <現象ほほ..17Mと>	
0276.50	ko:rui <現象ほほ..17Mと>	
0294.66	ko:jun < " >	



- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4589.83	ko:ru	simiru 〈古〉
4598.33	ko:ru 〈新〉	simiru
4599.31	ko:ru 〈新〉	simiru
4628.61 <del>4607.59</del>	f s ko:ru	simuru 〈一般〉
4648.59	ko:ru 〈新〉	zaeharu
4619.29	ko:ru 〈上〉	simuru
4663.06	ko:ru	simiru 多〈用"る"〉
4659.85	ko:ru 〈上・新〉	simuru
4672.19	ko:ru (共. や> 改まった言. 方か)	simuru (家庭内で多〈用"る"〉)
4675.45	ko:ru (新)	simuru (simite za:ga haru より類推。終上形は得られなかった。 128同21号。)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は敬密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		B 除いた共通語 (3)
		C 除いた特殊語

地点番号	△ 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4679.65	ko:ɬu	ʃimiɬu 〈多〉
4695.19	コイル (新)	#シミル(古?) #サエカハル
4701.14	ko:ru 〈今〉	süŋa haru 〈普通〉
4703.88	ko:ru 〈新〉〈共〉	süŋa haɬu 上:「氷か」はつか 下:昔は氷以外に言い方はなかった。 「氷か ko:ɬu」に作る
4731.15	ko:ru	sümiru 〈多〉
4712.54	ko:ɬu 〈新〉〈共〉	siŋa haɬu
4713.02	ko:ru	siŋa hatta 〈普通〉
4725.68	ko:ru	siŋa hatta 〈多〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	<del>A 語形とその注記</del> (B・C 除いた語形とその注)	<del>A 注のない語形</del> (B・C 残した語形とその注)
4731.42	ko:ru <共>	sümiru
4744.10	ko:ru <共>	süyaharu <普通>
4745.27	ko:ru <今>	siyaharu
4750.32	<del>ko</del> コール (稱)	スミル
4757.42	ko:ru <新.上>	sümiru
4760.64	ko:ru <上>	sümiru
5508.16	ko:ru <sup>u</sup> <新>	simiru
5528.31	ko:ru	simiru <古>
5548.60	ko:ru <新>	simiru
5589.30	コイル	シミル <本当はシミルからコイル なのである>

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 967	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語 (5)
		[C] 除いた特殊語

地点番号	<del>A</del> 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	<del>A</del> 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5605.11	ko:ru (上)	simiru (二水が最も多く用いられる)
5623.42	ko:ru <新>	gas <del>u</del> baru
5625.91	ko:ru <共>	simiru <多..>
5631.16	ko:ru <共>	simiru
5631.26	ko:ru <共>	simiru
5633.81	ko:ru <共>	kogoru <ふつう>
5635.48	コイル	シミル <古多>
5653.65	ko:ru <共>	simiru
6395.61	ko:ru	kogoru
6408.88	コイル <共新希>	ココイル

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6415.23	ko:ru <上品>	kogoru
6439.01	コイル <共新>	イテル
6500.88	ko:ru <希>	iteru
6510.65	イテル<やや多> イテルの方が多..という答えを得たが. イテルという形は或条件の場合にのみ用いるのでは ないかと考えられる。	コイル
6510.77	ko:ru <希>	ko:riya haru <sup>谷に入る水</sup> <全体加水 結する水のコーリカナルという>
6511.33	コイル	イテル <多>
6520.50	コイル <新英希>	イテル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6524.01	ko:ru	iteru <古>
6553.47	ko:ru <新>	kogoru <老人> (今はおほいさ の勢力下にある)
6553.83	ko:ru	kogoru <古>
6572.04	ko:ru <新>	kogoru <古>
6620.49	ko:ru <新・共>	kogoru
<del>6637.05</del> 77.20	ko:ru <新>	tappigako:tta tappiga matta
7340.24	ko:ru <共>	ku:?
7395.25	ko:ru <新>	kanakuri ga haru
<del>7395.88</del>	<del>kotta (現在形は koru であつたか)</del>	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		[B] 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語 ( / )

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0990.97	sibaretsukku	sibareru <sibarete siga hatta とお..う> <越中の人. 道路に氷かほつ:い kajami hatta tja と..う>
1738.19	sibareta kara	ko:ru
1942.03	sibareru <気候>	ko:ru
4609.50	ko:runaru <今>, siganaru	ko:runaru <今>, siganaru
4628.28	kogotta	kogoru
4734.20	Gielu	ko:lu
4793.15	simiru <道>	ko:ru <池の水>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) C 除いた特殊語 (2)

地点番号	A 普通とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5463.12	コオツタ	コオル
5569.02	カネコオリニナル	コオツタ
5604.65	<del>コオツタ</del> カタマツタ 過去完了形である	コオツタ (共)
5632.28	simiru <物にこぼると>	ko:ru <水が氷るときだけ>
5636.74	シミル <気候のこぼる>	コオル
5771.42	ko:ttgatta (過去形)	ko:tta (過去形)
6413.76	ココオ	ココル
6458.40	コオリニナル	コオリハントル
6522.93	ココル (可及き等)	イテル (表面的)
6541.66	イテ	イテル
6525.90	イテ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 127	地図番号 96	A 普通注記 ページ
項目名 氷る 127		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6636.05	ko:ri ni naru	ko:ru (英)
6657.96	katamaru	ko:ru
7239.85	ᵛᵛᵛ 𐄂𐄂𐄂	ᵛᵛᵛ
8325.03	kutforu 「氷とる」	kuru 「氷る」